

第 119 回 金属物性研究会
—骨代替用バイオマテリアル最前線—

金属は優れた機械的特性を有するため、自動車や航空機の部材として利用されるだけでなく、生体内においても広く利用されている。病気や事故で骨を損傷もしくは失ってしまった場合、金属材料による修復・代替が行われている。しかし、金属材料と生体骨との融合性には改善すべき点があり、化学的・生物学的そして力学的観点からその改良が必要とされている。

本研究会ではこのような背景から、化学的・生物学的そして力学的観点から骨代替用金属材料を改良するための基礎的な研究に関する 3 件のご講演をいただきます。金属材料と細胞・生体という境界領域研究にご興味のある方は是非積極的なご参加をお願い申し上げます。

主催 日本金属学会・日本鉄鋼協会中国四国支部
日時 2014年10月3日(金) 12:55～16:30
場所 愛媛大学 工学部 本館3階 大会議室
(<http://www.ehime-u.ac.jp/access/johoku/index.html>)

1. 開催の挨拶 (愛媛大学 小林千悟)

12:55～13:00

2. 研究会

13:00～13:50 座長：愛媛大学 小林 千悟

- ① 「生体材料用チタンをはじめとする各種バルブメタル・合金の高骨伝導化表面処理
～従来の発想を覆す湿式表面処理～」

名古屋大学 エコトピア科学研究所 黒田 健介 先生

13:50～14:00 休憩

14:00～14:50 座長：名古屋大学 黒田 健介

- ② 「アミノ酸誘導体がヒト好酸球の走化性を制御する」

愛媛大学 教育学部 岡本 威明 先生

14:50～15:00 休憩

15:00～15:50 座長：愛媛大学 阪本 辰顕

- ③ 「人工関節開発のための評価技術」

愛媛大学 医学部附属病院 先端医療創生センター 白石 善孝 先生

3. 総合討論 (司会：愛媛大学 小林千悟)

15:50～16:20

参加申込 氏名・所属を明記のうえ、9月26日(金)までにE-mailにて下記へお申込下さい
(当日参加も可ですが、できる限り事前に申し込みください)。

参加費 無料

世話人 小林千悟、岡野 聡、阪本辰顕 (愛媛大学)

申込・問合せ 愛媛大学大学院 理工学研究科 小林 千悟

Tel 089-927-8524, FAX 089-927-8524

E-mail:kobayashi.sengo.me@ehime-u.ac.jp